

「北海道に夜間中学をつくる会」

2011 年度第 3 回事務局会議のまとめ

会場：札幌エルプラザ 2 階会議コーナー

出席者：工藤代表、泉事務局長、飯塚、工藤（朱）、小寺、佐々木、
篠原、船木、以上 8 名（敬称略）

【議題】

1. 全道自主夜間中学交流会実行委員会第 2 回の報告
第 2 回自主夜間中学「生活体験発表」に向けて
2. 第 57 回全国夜間中学校研究大会の参加について
（「すべての人に義務教育を！」拡大専門委員会）
3. 札幌市教委、市議会への働きかけの今後について
4. その他

【話し合い】

1. について

実行委員会のまとめを各自主夜間中学に送付し検討してもらう。

函館遠友塾はスタッフが 2 名ほど参加の意向。また、釧路「くる
かい」は学習者さんが 3 名ほど参加できるかもしれない。

旭川遠友塾には実行委員会名で「生活体験発表」参加の文章を
送付。それとは別に、生徒会がつくられたのでそこにも直接参加

について働きかけをしてもらう。

また、札幌遠友塾の同窓会や賛助会員に案内の郵送物を出してもらうようお願いする。(9月事務局会議で了承をえる)

向陵中学校や地域町内会に向けた案内、札幌市民や各地自主夜間中学の情宣のためにも、道教委や札幌市教委の後援をえることの提案がされた。

(函館と釧路の実行委員へは電話で了承をえ、札幌遠友塾の実行委員にはメールで了承をえる。)

次回実行委員会：9月10日(土)午後1時 かでの2・7

2. について

12月2日(金)～3日(土) 東大阪市民会館

記念講演 浅野慎一(神戸大学)「夜間中学の意義と課題」

全国生徒アンケートをふまえて

領域別分科会 「夜間中学生の現状からこれからの夜間中学のあり方を考える」

すべての人に義務教育を！拡大専門委員会

参加者： 工藤代表、飯塚2名

3. について

道教委との話し合いについて、各自主夜間中学の具体的な要望や課題をつかみきれていない。

だが、釧路「くるかい」では、形式卒業者が多いとの学習者の実情から、生涯学習に重点をおいて釧路市教委などと話し合いをしている。その結果、釧路市長の視察や市からの支援をえている。その一方で、不登校生の受け入れについては慎重な様子が見えがえる。

札幌遠友塾では、授業の充実に向けた要望の優先順位が高くなってきている。学校教育か生涯学習かとの制度を問題にするのではなく、生涯学習の面から位置づけた授業の充実に向けた市教委との話し合いが必要になるのでは。

そのために、生涯学習推進課長が述べた「遠友塾の活動に責任を負う」との見解がどのような行政根拠によるのか、質していきたい。この見解は学校教室の継続的利用について示されたが、授業の充実やその先の市教委との「共同事業」に向けていく話し合いにつなげていきたい。

そして、札幌遠友塾が向陵中学校の教室を「開放事業の一種」（便宜供与）として利用できているのではなく、学校の自主「夜間学級」となるような方向がないかを話し合っていく。

そうすることで、学校教職員や生徒との授業を通じた交流、PTA や地域住民との交流・支援をはかることができるようにしていく。そうして、学校教育の問題についても考える一助にな

ることを願っている。

そのためには、札幌遠友塾内部において受講生の授業にたいする要望をくみ取り、スタッフ内部での話し合いを深めていくようにする。

また、市教委と対立的であったり、物取りの的であったりせず、受講生の授業の充実、権利の回復を第一とした話し合いをしていく。

※ 遠友塾のクラス部会で「北海道に夜間中学をつくる会」

とは、どのような性格の団体か、遠友塾との関係について、

新スタッフから質問がされるので、全体会議で説明の時間

をもらえるように事務局会議にはかかってもらいたい。

4. について

映画「こんばんは」監督の森康行さんから、映画「かすかな光へ」（教育研究者太田堯氏の生涯）上映の協力が寄せられた。

シアターキノの中島洋氏にも同文が送られ、工藤さんに相談が来た。以下、その相談内容です。

- ①試写のフィルムが届くので一緒に見てもらいたいこと
- ②キノでの上映は11月26日または12月10日土曜から1日1回1週間を予定していること
- ③初日のみに上映後の企画を何か考えてほしいこと（試写を見て考えてほしいこと）
- ④お金は全てキノが責任を負うこと
- ⑤できるかぎりの情宣をお願いしたいこと（チラシはキノが作成）